

「じんけん」ぽん

(2008.01/NO.45)



〔発行〕 社会福祉法人 生活クラブ 中核地域生活支援センターあいネット

〒277-0005 柏市柏5-2-17 TEL 04-7165-8707 FAX 04-7165-8709

HP. <http://homepage2.nifty.com/ai-net/> ML. bch13362@nifty.com

<ひとこと>今年も一年、無事にすごせますように。これから寒さ本番、うがい手洗いお忘れなく。

中核センター事例集作成中

◆中核ってどんな相談がきていて、どんな風になっているの？

という疑問をお持ちの方も多
いはず(？)、また何をやってい
のか見えにくいという思いは中核
センター側にもあり、事例集を作
成中です。

その前段にまず、昨年ほぼ一
年かけて中核センターの役割と
課題を夜な夜な集まり論議し、
まとめたもので、中核の指針を作
りました。実際どんな支援を
しているのかをより具体的な形
で示すのがこの事例集になりま
す。中核センターの意味(意義)
とその独自性を世に問うもので
もあるわけです。



年齢や障害を問わないワンス
トップの福祉総合相談という位
置づけは、福祉に関わることであ
れば何を相談してもいいことか
ら出発します。

そのために思いもかけない相
談もあるのですが、
「話をきちんと聴く側がいる」と
「問題の整理が自分ででき」、
「ただただ大変だ」という思いが少
し減り、「解決に向かう気持ちに
なる」人も多いと感じます。

そういった相談にはこちらは、
ほぼ聴いているだけで、事例集に
はなりにくいのですが。そんな相
談場所が必要とされていると大
いに感じることです。

そんな思いを新たに、今年もよ
ろしくお願いいたします！

あけまして おめでとう ございます!

昨年中は、大変お世話になりました。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成20年正月

社会福祉法人生活クラブ

中核地域生活支援センター あいネット

永桶静佳 青柳美代子 加藤ひさ枝

佐々木誠子 塩原泰輔



「こんな、ご相談がありました。」
「どこに電話しても、同じところを紹介さ
れる。このままたらい回しにして、私に死ねと
いうのか！それなら、私を脅している奴を殺
すしかない！」

私も「この機関から、どの様にあいネット
を紹介されたのか？」など詳しく伺うこと
が、はじめのお電話で出来ず…同じ機関を紹
介してしまつたこと反省。そのことを率直に
「ごめんなさい」と伝えました。

後日、ご本人から連絡があり…来所。

「はじめて、ゆっくり話しを聞いてもらつた」と
のこと。その時、私たちは「今の状況では何も
出来ないが、何か別の方法はないか。一緒に
考えませんか？」というスタンスでした。現在
は、ご自身で解決方法を見いだされ、生活を
されています。

昨年十二月十五日(土)、柏市
中央公民館五階講堂にて、「堀
の中の『障がい者』」(主催:社会
福祉法人高柳福祉会わかたけ
社会センター)と題して、山本讓
司さん(元衆議院議員、著書『監
窓記』『累犯障害者』など)の講
演会が行われました。



山本さん自らが服役した栃木
県にある黒羽刑務所での様子を
中心にお話があり、知的障
いを持った人たちの再犯防止の
ためにセーフティーネットの構築
を目指しているとの内容でした。

「以下、講演会のメモから」

「自分の常識にないようなこ
とは、知らないよ。勘弁してよ。」
知的障がいを持つ受刑者に対し
て、ある刑務官の態度。

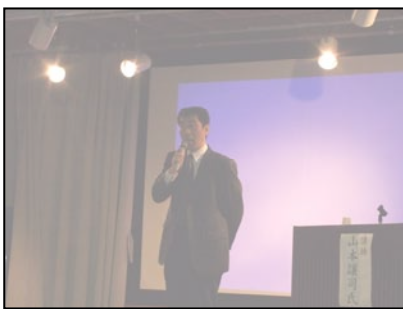
堀の中の「障がい者」山本讓司氏講演会

「(刑務所は)自由もないけど、不安もないよ。」

「私たちには、居場所がない。福祉
は(精神論、根性論等で)押し
つけられる。」(刑務所は)自由
もないけど、不安もないよ。」
「(出所について)うれしいより、
不安が一杯。」という障がいを持
つ累犯者の本音。また「刑務所の
ほとんどが福祉施設?の状態。」
という声があること。

某刑務所では、三千三百人の
受刑者のうち、六百名が外国人。
残り二千七百人の六十%が、何
らかの障がいを持っている人、そ
して二十%が高齢者との現実。

高齢受刑者に対して、マンツ
ーマンでの食事介助などが行われ
ている映像を見ると、刑務所は福
祉施設の状態と言われるのも無
理はないかと思えます。



山本讓司氏

「(本人に対して)科学的アプロ
ーチ、それに伴う専門チームの必
要性」「入所時から、身元引受人
を探ることが出来るような仕組
みを持った、半官半民の刑務所
運営」などの提言があり、実際に
それは動き始めているプロジェクト
であるとお話しました。

とある組事務所で「ココは楽
しいよ。兄貴(あにき)が応援し
てくれるから…」出所後、屈託の
ない笑顔で話しをされていた障
がい者を心配されていた山本さ
んのお話しを聞いて、一緒に考
え、行動をしていかなければ、何
も変わらないと強く思いました。

◇おしゃべり会の報告◇

今年2月の広報紙にて「お話ししま
せんか?」と題して、当事者の会の立
ち上げを提案したこと…覚えてらっ
しゃいますか。

こちらに寄せられるご相談の中で、
・ 友達がほしい
・ 休みの過ごし方が分からない
・ 自宅でテレビゲームをしている
などの声を多く聞きます。「本人同士の
やりとりの場」の提供、集まる会をし
ようと始めました会も、毎月続けて…
12月で11回目を迎えました。

内容はのんびりしてしまして、何を
しようかと話し合い、ファミレスで昼
食、農業まつり散策、消費生活センタ

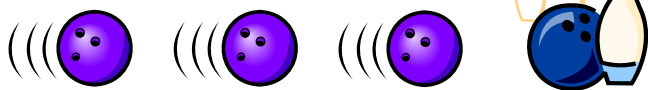
ーさんとの勉強会開催等を行いました。
そして、12月の会の報告です。

◇◇◇第11回おしゃべり会◇◇◇

12月16日(日)午前中、柏長崎屋前に集合をして、
ボーリングする予定でしたが、あいにく大会使用の
ためレーンが空かず、南柏へ電車移動(汗)こちら
はレーンが使用でき、一安心。とても盛り上がりま
した。楽しかったとの声が多かったので、次回もボ
ーリングをすることになりました。

◇次回は平成20年1月13日(日)◇

◇今年もよろしくお願いいたします◇



問い合わせ先:04-7165-8707

中核地域生活支援センターあいネット(青柳、塩原)



地域を歩く

いろいろやハーマニー

障害を乗り越え、自立を目指す人が働いているお店です。

- ◆ 運営は NPO 自立サポートネット流山
- ◆ 営業時間 11:00～17:00 定休日/毎週土曜日・祝祭日
- ◆ 場所は 流山市平和台 3-2-15 (総武流山電鉄平和台駅近く)
TEL/FAX 04-7157-9933

オープンして6年目を迎え地域にも定着し、リピーターのお客様も増えてきています。遠くは、松戸からも買いにきてくださいます。

◎ 一番の売りは、流山の農家で生産している新鮮な野菜です。

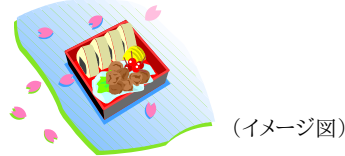


◎ 今では約30件の農家と提携し毎日新鮮な野菜を提供しています。その他にはリサイクル品、作業所の製品(パン・焼き菓子など)、花、米、うめぼしなど、などいろいろあります!!

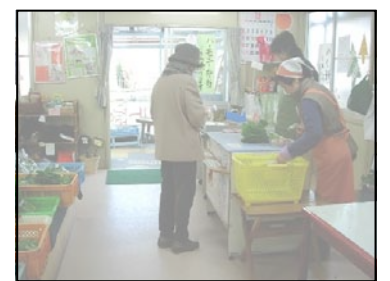
◆ 店長の大島さん、職員の松本さんに直撃インタビュー

最近11時前になると、大勢のひとが開店を待つ列ができています。これも従業員や職員の「おはようございます!」「こんにちは!」の声かけに、地域のみなさんが答えてくださったお陰だと思っています。日々の小さな努力と熱意のおかげで今では地域に定着してきました。「安心・安全・お客様とのふれあい」がモットーです。お客様から「ここへ来ると元気がもらえます。従業員の方が必ず声をかけてくれます。それが楽しみです」と言われて一層の励みにもなりところが温かくなりました。今年ここを巣立って一般就労された方が2名おられます。ここで働いている従業員の方たちが次のステップとして、一般就労であったり、賃金のアップであったり…それぞれの目標をもつていただけるようケアの質の向上を目指していきたいと思ひます。

と、話されるお二人の目は輝いていました。そして、エネルギーをいっぱいいただきました。



(イメージ図)



おためしください!!

「♪ハーマニー弁当(800円)」ご存知ですか?

毎週火曜日:1日30食限定 (予約販売しております)

材料は流山産。

成人病・認知症予防(600cal前後)に効果があります。

eye ネット

1989年全日本プロレスのキャッチフレーズ「みんなが格闘技に走るの、私、プロレスを独占させていただきます」(ジャイアント馬場さん)当時、UWF旗揚げなど現在(K-1等)の本格的な格闘技ブームへ向かう最中のキャッチフレーズ。では、2008年「みんなが就労支援に走るの、私、生活支援をがんばります。」(あいネット)

おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(04-7165-8707)までご連絡ください◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
◆いのちとこころを考えるちば (ちば自殺対策県民フォーラム) 講演:「自死で母を亡くして」弘中照美氏 (多重債務による自死をなくす会) 「多重債務の解決に向けて」 陶山嘉代氏(千葉県弁護士会)	1月12日(土) 13:00～16:30 (開場 12:30)	プラザ菜の花 3階 大会議室 定員 250名 (申込み先着順)	無料	○申込み必要 電話、はがき、FAX、 メールのいずれか 氏名・連絡先・参加 人数・お住まい市町 村名を記入。	千葉県健康福祉部健康づくり支援課 〒260-8667千葉市中央区市場町1-1 でんわ:043(223)2668 FAX:043(225)0322 メール: kokoken@mz.pref.chiba.lg.jp 主催 千葉県、千葉市
◆その人らしい暮らしを支えるサービスを 始めてみませんか? ～パーソナルアシスタントサービス説明会 を開催します～	1月19日(土) 13:30～15:30	インキュベーション オフィスABIKOs 我孫子市本町 3-7-10 JR我孫子駅 徒歩4分	無料	×申込み不要	特定非営利活動法人虹の会(担当:高井) でんわ:04(7179)3133 主催 千葉県、特定非営利活動法人プレ ーメンの星数支援センター あなたに合わせた支援事業所全県普及事業
◆障害を持った人たちの 地域生活を考える 講師:福岡寿氏(長野県北信圏域障害 者生活支援センター所長)	1月27日(日) 13:00～16:00 (受付 12:15～)	特別支援学校流山 高等学園 体育館 流山市野々下 2-496-1	資料代 100円	○申込み必要 電話、FAXにて氏 名・所属を記入。 ☑切り:1/8	東葛北部地区知的障害者施設連絡協議会 (担当:つつじ園 田口) でんわ:04(7147)2941 FAX:04(7147)2680 主催 同上
◆第4回高次脳機能障害リハビリテーシ ョン講演会 テーマ:支援ネットワーク構築の現状と課題 ～生活を支える身近な 行政・福祉・医療の連携～ 基調講演:白山康彦氏(静岡英和学院大学 人間社会学部准教授)	2月2日(土) 13:00～16:00	千葉市美浜文化ホ ール 千葉市美浜区真砂 5-15-2 JR京葉線検見川 浜駅 徒歩8分	無料	○申込み必要 郵送、FAX、メールに て参加申込み用紙 あり。(用紙はあいネ ットにもございます) ☑切り:1/29	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団 千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域連携部地域支援室 でんわ:043(291)1831(内線182) FAX:043(291)1847 メール: sonpo@chiba-reha.jp 主催 同上